

チャレンジ！！オープンガバナンス 2017 市民／学生応募用紙

地域課題タイトル (注1)	No.	タイトル	自治体名
	- (事務局用)	室蘭に新たな観光客を呼び込むためのアイデア	室蘭市
アイデア名 (注1) (公開)	アイヌ列車		

(注1) 地域課題タイトルは、COG2017 サイトの中に記載してある応募自治体の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。

1. 応募者情報

チーム名 (公開)	チーム鍋		
チーム属性 (公開)	<input type="checkbox"/> 1. 市民によるチーム	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 学生によるチーム	<input type="checkbox"/> 3. 市民、学生の混成によるチーム
メンバー数 (公開)	4 名		
代表者情報	氏名 (公開)	宮本将英	

(注意書き) ※ 必ず応募前にご一読ください。

<応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2017_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2017 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。 admin_padit_cog2017@pp.u-tokyo.ac.jp

<応募内容の公開>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について：
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY (表示) 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC (表示—非営利) 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公表いたしません)
5. この応募内容のうち、「審査項目自己評価」は、非公開です。なお、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあり得ます。

<知的所有権等の取扱い>

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、や知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「審査項目自己評価」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

<チームメンバー名簿>

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

2. アイデアの説明（公開）

（1）アイデアの内容、（2）アイデアの論拠、（3）実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

（1）アイデアの内容（公開）

アイデアは、だれが、何を、どこで、いつ、どのように、する公共サービス（活動）なのか、これらの要素を入れて**内容そのもの**をわかりやすく示してください。**1 ページ以内**でご記入ください。（必要に応じて図表を入れても構いません）

『アイヌ列車』

- ・ 登別～長万部間を運行する観光列車
- ・ 運行時期は秋から春にかけて
- ・ 完全予約制の観光列車
- ・ タブレット端末を使用したシステムを構築する
- ・ アイヌ文化の衣食住を体験できる観光列車



➤ 体験できる「衣」

- ◇ アイヌ式の服装を AR により疑似体験できる
- ◇ タブレットで顔や体に画像を疑似投影
- ◇ 写真を撮って PR 効果も狙う



➤ 体験できる「食」

- ◇ 胆振管内産の食材を使ったアイヌ鍋を提供する
- ◇ 食材を鍋にあらかじめ入れておき、調理を乗客にやってもらう
- ◇ 調理方法の説明をタブレット端末で行い、外国語にも対応させる



➤ 体験できる「住」

- ◇ 車内空間をアイヌ風の内装にする
- ◇ AR を利用することで、車内では再現できない囲炉裏などを見ることができる。



(2) アイデアの論拠（公開）

アイデアの論拠（なぜこのアイデアなのかの理由付け）について、それをサポートするデータ（統計類の数値データやアンケート・インタビューなどの定性データ）や証拠（資料や計画、既存の施策など）（以下：総称して「データ類」といいます）などを含めつつ、2 ページ以内でご記入ください。データ類は出所を明らかにしてください。

・登別に来る観光客は多い

（北海道観光入込道外客数 8240000 人中、登別観光入込道外客数 1942954 人、約 23%）

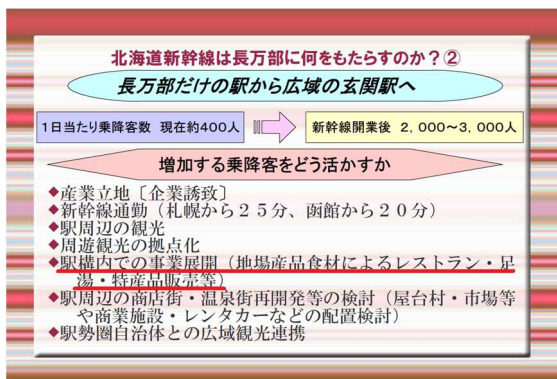
出典：北海道観光入込客数の推移 経済部観光局

出典：平成 28 年版統計データ 登別市 <http://www.city.noboribetsu.lg.jp/docs/2016041000013/>

→ 登別～長万部間の人の動きを生み出し、胆振地方全体の知名度を上げ、観光客を増やす

・長万部町新幹線駅構想案のレストラン運営計画

→ 鍋に必要な食材の調達と調理を近場で行える

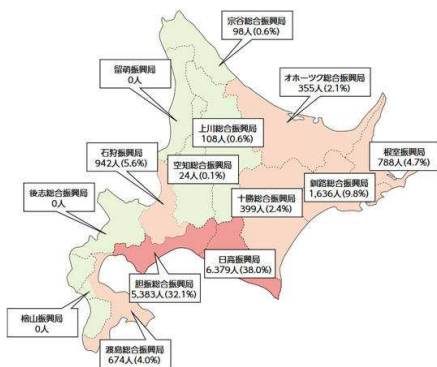


出典：長万部町ホームページ 北海道新幹線長万部駅開業に向けて

<http://www.town.oshamambe.lg.jp/modules/politics/content0042.html>

・胆振地方はアイヌ文化の拠点(北海道に住むアイヌ民族の 70.1%が胆振・日高に居住している)

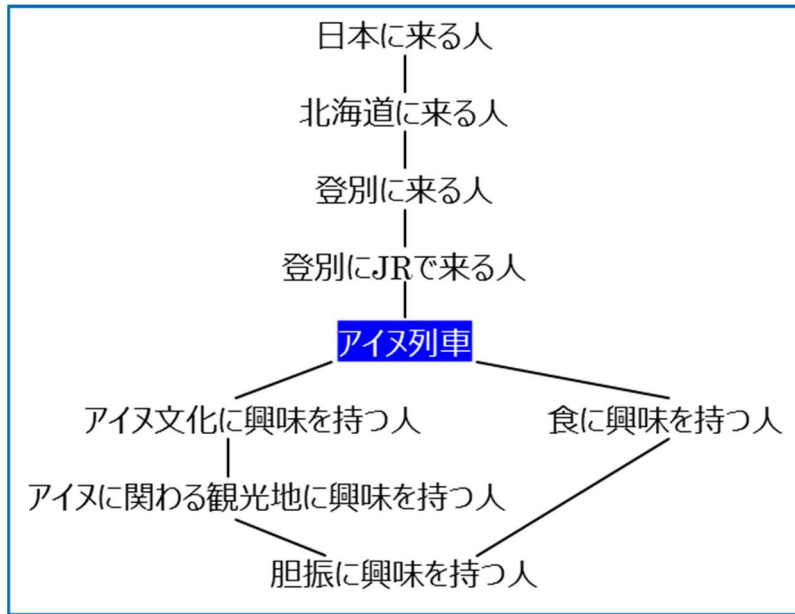
→ 地域に根差した観光資源で観光客を増やし、知名度を上げる



出典：公益社団法人 北海道アイヌ協会 北海道新幹線長万部駅開業に向けて

<http://www.town.oshamambe.lg.jp/modules/politics/content0042.html>

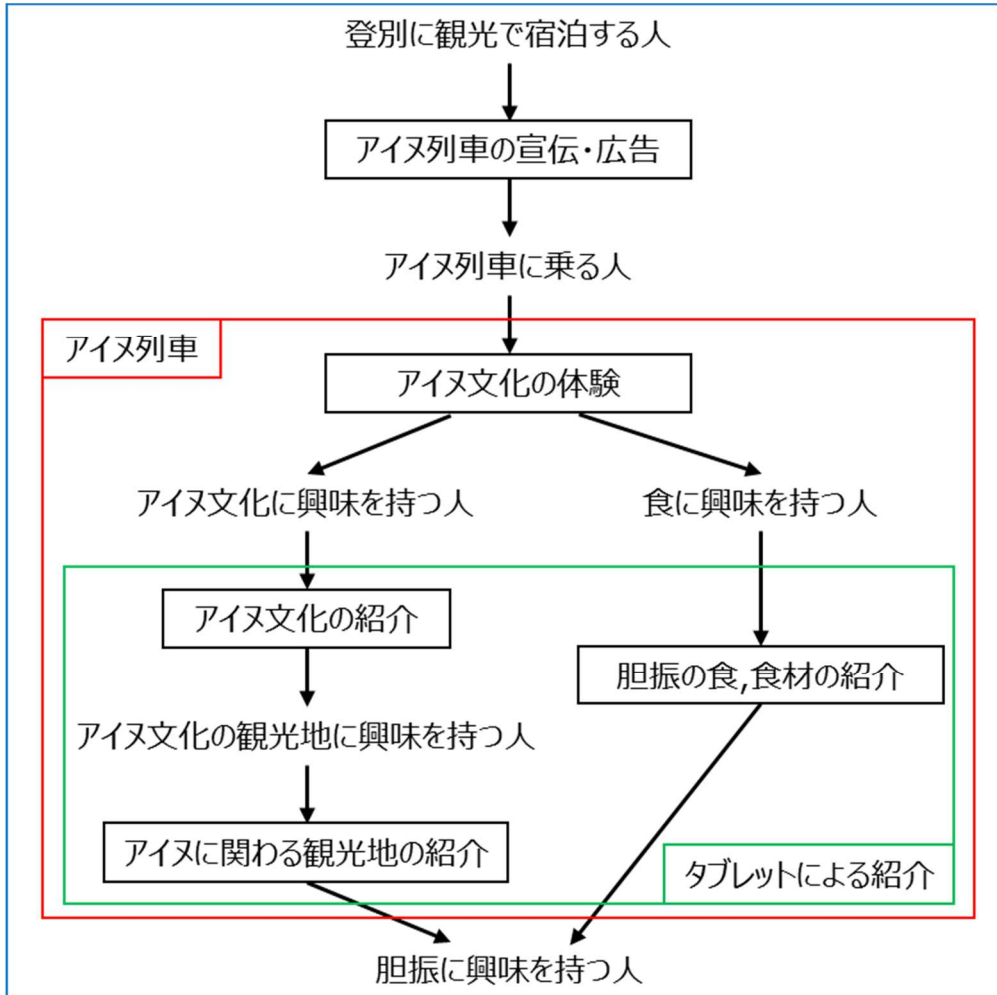
機能展開



(3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）**の大きな規模とその現実的な調達方法（制約がある場合にはその解決策を含む）、アイデアの**実現にいたるプロセスとマイルストーン**等、アイデア実現までの大きな流れについて、**2 ページ以内**でご記入ください。（必要に応じて図表を入れても構いません）

コンポーネントデザイン



線表

	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	12か月	13か月	14か月
車両に機能搭載												◆車両に機能搭載		
タブレットに全機能搭載									◆タブレットに全機能搭載					
運行開始														◆運行開始
アイヌ列車プロジェクト														
車両														
車両製作														
ダイヤ調整														
タブレット														
タブレット機能作成														
AR機能作成														
食材														
食材調達														
広告														
サイト作成														
チラシ作成														